



霞ヶ浦高等学校附属中学校

二〇二〇年度 第一回専願入学試験問題

(令和元年十一月三十日実施)

国語

試験時間 六十分

注意

- 一 この問題用紙は、「はじめ」の合図があるまで開いてはいけません。
- 二 「はじめ」の合図があったら、最初に受験番号と氏名を書きなさい。
- 三 問題を読むときは、声を出してはいけません。
- 四 答えは、すべて解答用紙に書きなさい。
- 五 記号による解答は、特別の指示があるもののほかは、あてはまるものを一つ選び、その記号を答えなさい。記号以外の解答は、指示のとおりになさい。
- 六 字数制限のある問題では、句読点やかぎかっこなどの符号もすべて字数にふくめます。
- 七 試験中に携帯電話などの使用はできません。

受験番号	氏名

1 次の一線部の漢字のよみがなを書きなさい。

- | | | | | |
|---------|-----------|-----------|-----------|----------|
| ① 人の気配。 | ② 本音の話。 | ③ 至難のわざ。 | ④ 盛大な結婚式。 | ⑤ 外の景色。 |
| ⑥ 目の錯覚。 | ⑦ チームの方針。 | ⑧ 慎重な行動。 | ⑨ 待望の休み。 | ⑩ 永遠の願い。 |
| ⑪ 投票する。 | ⑫ 提案する。 | ⑬ 探検に行く。 | ⑭ 条約を結ぶ。 | ⑮ 純粹な心。 |
| ⑯ 私立学校。 | ⑰ 国の基準。 | ⑱ 電源を入れる。 | ⑳ 交通手段。 | ㉑ 生活態度。 |

2 次の一線部のカタカナを漢字に直して書きなさい。

- | | | | | |
|-------------|------------|------------|--------------|------------|
| ① 親にカンシヤする。 | ② キボウの光。 | ③ ヤサイを食べる。 | ④ シゲンを大切にする。 | ⑤ シンケンにやる。 |
| ⑥ チームのデントウ。 | ⑦ ウチュウ飛行士。 | ⑧ チイキの人々。 | ⑨ セキン感。 | ⑩ 完全ユウシヨウ。 |
| ⑪ カイダン掃除。 | ⑫ カガミを見る。 | ⑬ キセツが変わる。 | ⑭ オウダン歩道。 | ⑮ 集合シヤシン。 |
| ⑯ ジュウヨウな問題。 | ⑰ セイセキ発表。 | ⑱ 目標タツセイ。 | ⑳ 英タンゴ。 | ㉑ 将来のユメ。 |

3 問一 次の①・②の矢印の部分は何画目に書きますか。漢数字で答えなさい。

① 量 ←
② 歴 ←

問二 次の①〜③の漢字の総画数を漢数字で答えなさい。

- ① 楽 ② 毎 ③ 緑

問三 次の①～③の熟語の組み合わせにあてはまる熟語として適切なものをあとから選び記号で答えなさい。

- ① 同じような意味の漢字を重ねたもの
 - ② 反対または対応の意味を表す漢字を重ねたもの
 - ③ 上の漢字が動作、下の漢字がその対象になっているもの
- ア 登山 イ 最初 ウ 上下 エ 国連 オ 森林

問四 次の―線部の修飾語が修飾している言葉を文中から書き抜きなさい。

- ① ようやく全員が集まったと思つたら、一人足りなかった。
- ② たとえどんなに反対されようとも、ぼくは行くよ。
- ③ 姉が部屋を毎日きれいに片付けるので、ぼくばかりが怒られる。

問五 次の―線部の敬語の種類として適切なものをあとから選び、記号で答えなさい。

- ① 先生はあの絵をご覧になりましたか。
 - ② 雨がふつています。
 - ③ 卒業する先輩に花束を差し上げる。
- ア そんなけい語
イ けんじよう語
ウ ていねい語

問六 次の①～③がことわざになるように、(A)～(C)に当てはまる言葉を書きなさい。

- ① 猫に(A) ↓貴重なものを与えても何の反応もないこと
- ② 類は(B) を呼ぶ ↓似た者同士は自然と寄り集まるといふこと
- ③ ちりも積もれば(C) となる ↓わずかなものも積もり重なっていくと大きなものになるといふこと

4 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

1 いまの日本の教育現場を見てみますと、残念なことに「失敗は成功のもと」「失敗は成功の母」という考え方が、ほとんど取り入れられていないことに気づきます。それどころか、重視されているのは、決められた設問への解を最短で出す方法、「こうすればうまくいく」「失敗しない」「ことを学ぶ方法ばかりです。

2 これは受験勉強にかぎりません。実社会でも通用する知識・教養きょうようを教える最高学府である大学での学習もまた同じです。失敗から学ぶ体験実習のように、自分の力で考え、失敗経験を通じて新たな道を模索もさくする、創造力をつちかう演習が行われる機会は、ほとんどありません。これが、「日本人の欠点」として諸外国から指摘され、また、自らも自覚している「創造力の欠如」にそのまま結びついているのではないのでしょうか。

3 たしかに以前は、ほかの人の成功事例をマネすることが、成功への近道だった時代がありました。そうした時代には、決められた設問に正確な解を素早く出す学習法が有効だったのは事実です。

4 (A)、ほかの人の成功事例をマネすることが、必ずしも自分の成功を約束するものではなく、それがいまの時代です。昨日までの成功は、今日の成功を意味しません。そのような時代に大切なものは、やはり創造力です。そして創造力とは新しいものをつくりだす力を意味している以上、失敗を避けてつちかえるものではありません。

5 創造力を身につける上でまず第一に必要なのは、決められた課題に解を出すことではなく、自分で課題を設定する能力です。あたえられた課題の答えのみを最短の道のりで出していく、いまの日本人が慣れ親しんでいる学習法では、少なくともいまの時代に求められている真の創造力を身につけることはできません。(畑村洋太郎『失敗学のすすめ』一部改変より)

問一 ②段落の働きを説明したものととして、最も適切なものをあとから選び、記号で答えなさい。

ア ①段落とは話題を変えて、別の話題を示している。

イ ①段落と対立する内容を述べている。

ウ ①段落で述べたことの理由を説明している。

エ ①段落の内容を発展させている。

問二 (A)にあてはまる言葉をあとから選び、記号で答えなさい。

ア たとえば イ しかし ウ なぜなら エ また

問三 「いまの時代に求められている真の創造力」を身につけるためにはどのような力が必要だと筆者は述べているか。本文中から十二字で書き抜きなさい。

⑤ 次のAかBのテーマを一つ選び、以下の条件に合わせた作文を指定の原稿用紙を使って書きなさい。

A なぜ本校を志願しましたか。また、本校に入学したら、何を頑張りたいですか。

B 小学校時代に友人と協力した活動や行事から、何を学びましたか。

条件 1 四百字以上、六百字以内で書くこと。(句読点を含む。)

2 正しい原稿用紙の使い方をすること。

3 一行目から作文を書き始めること。